

かけはし

第19号 平成7年5月31日発行
発行 千代田区教育委員会



楽しい給食（番町小 1年）

主
な
記
事

- ☆学校教育と生涯学習の充実を目指して
—平成7年度スタート—
- ☆日本の文化遺産に学ぶ
—修学旅行（京都・奈良）—
- ☆3年目を迎えた「メレーズ軽井沢」
- ☆“リニューアル” 保田臨海学園

学校では給食があるのでとても楽しみです。ぼくたちは先生に教わりながらお兄さんやお姉さんのように「給食当番」ができるようになりました。

学校の給食はとてもおいしいので、今日はおかわりをしてしまいました。

*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

学校教育と生涯学習の

充実を目指して

平成七年度スタート



千代田区教育委員会の教育目標

(概要)

来るべき21世紀において千代田区の教育の歴史と伝統を継承・発展させ、心身ともに健康で千代田に誇りと愛着を持つ人間性豊かな区民の育成を目指し、次の視点を基本として、本区の教育を推進します。

1、本区における高齢化、情報化、国際化など、社会の急激な変化に伴う区民の学習需要に対応し、家庭教育、学校教育および社会教育・社会体育を充実し、地域社会との密接な連携を図り、区民の生涯にわたる学習意欲に応えます。

2、学校教育においては、自他の生命を尊び、心身ともに健全で、社会連帯意識を持ち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる区民の育成を目指し、生涯学習の基礎を培います。

とりわけ、教育条件整備に引き続き努力することともに、時代の変化に即した教育内容の一層の充実を図ります。

3、社会教育・社会体育においては、区民の生涯を通じて自己実現と生きがい意欲の醸成を図り、あらゆる機会や場を活用し、区民の多様な学習意欲を充足することのできる諸施策の推進を図ります。

また、公共施設適正配置構想に基づく生涯学習施設の充実を図り、より一層学習機会や場の提供を図ります。

教育委員紹介

三月二十八日付で、教育委員会は次のような構成になりました。

年々国際化・情報化していく区民の学習意欲に対応できるよう、生涯学習や社会教育のほか、教育条件整備など、様々な施策に向けて、より一層の充実を目指してまいります。



教育委員長
横山 安宏



教育委員長職務代理
栗岩 英雄



教育委員
曾根 史子



教育委員
小林 泰而



教育委員(教育長)
井澤 一弘

入学・進級

四月、幼稚園・小・中学校で入学(園)式が行われ、新入生を迎えて今年度の教育活動が始まりました。

新入生は、早くも新しい環境にとけこみ、先生方や友人と学校生活を楽しくしております。

幼稚園・小学校が新たな8校(園)として発足してから今年で3年目を迎えました。引き続き子どもたちの個性を生かした教育の充実を図ります。

教育予算

総額 八九億四、〇八六万円

三月の区議会定例会において、平成七年度教育予算が議決されました。このうち、子どもたちの学習に関連のあるものをご紹介します。

自然体験・移動教室・夏季施設関係
七、二八六万円

小学校は箱根・嬬恋・鎌倉、中学校は軽井沢・保田で実施される、宿泊を伴う行事の予算です。

複合施設建設関係
三二億九、〇〇一万円

昌平小・幼の新校舎(外神田)の建設工事費や千代田小・幼の新校舎(神田司町)の設計・建設工事費、また総合文化施設(神田小川町)と(仮)第一中学校の新校舎(平河町)の設計費等の経費です。

今年度も教育条件の一層の整備と生涯学習活動の充実を推進してまいります。

コンピュータ活用に関する経費
四、七八三万円

小・中学校における情報教育の充実に

必要な経費です。

施設改修

四億二、九二一万円

幼稚園・小・中学校の校舎や校外施設の改修、環境整備、安全確保の徹底を図るためのものです。

備品整備

七、六四七万円

子どもたちの学習活動を充実させるための教材など、必要とされる備品を購入し、整備します。

海外交流・国際理解教育

一、五四二万円

中学校ではイギリスのウェストミンスター中学校への海外交流を、小学校では在日外国人学校との交流をそれぞれ実施して、子どもたちのための国際理解教育を一層推進していくようにするほか、各校の資料の充実を図ります。

富士見幼稚園に

専任園長誕生

本年四月一日より、富士見幼稚園に専任の園長が置かれ、初代園長には、角田富美子氏が就任しました。区立幼稚園の専任園長就任は、昨年度の和泉幼稚園に次いで2人目となりました。

区立幼稚園では、地域や自然環境とのふれあいなど創意ある教育活動を通じて、健康な幼児育成を行うとともに、小学校との連携を進めます。

平成7年度 学級数・在籍者数等

平成7年5月1日現在
(小・中学校は学校基本調査による)

区 分	学級数	在籍者数	新入生数
幼稚園	33	399	154
小学校	104 (3)	3,208 (6)	441 (2)
中学校	48 (1)	1,678 (1)	565

()内は鎌倉臨海学園及び心障学級、外数



奈良公園 (一橋中)



平等院 (練成中)



金閣寺 (九段中)



和菓子づくり (麴町中)



法隆寺 (九段中)



夕食風景 (一橋中)



嵯峨野で人力車 (今川中)

日本の文化 修学旅行

めることなどがあげられます。
待ちに待った修学旅行で、グループ別の自主的な活動などを通して、友達との友情をさらに深め、生涯忘れ得ぬ楽しい思い出をたくさんお土産にして、全員無事帰京しました。

遺産に学ぶ (京都・奈良)

京都、奈良を巡る区内中学校3年生の修学旅行が4月24日から2泊3日の日程で行われました。
この修学旅行の目的は、古都の文化財にふれ、歴史や文化について考えること、また集団行動を通じて集団の一員としての自覚を高めることなどがあげられます。



西陣織の体験 (麴町中)



法隆寺 (今川中)



二条城 (練成中)

感想文

京和菓子作り

麴町中 松本 怜子

修学旅行のメインイベントとも言える「体験学習」は、五つのコースに分かれています。そのうちの一つの「京和菓子作り」に参加しました。場所は鶴屋吉信で、作る和菓子は桜の形をした「こなし」と菜の花をイメージした「きんこん」です。
「これからどんな物が出来るんだろう」と思いながらみんなとても真剣に職人さんが作るお手本を見ていました。出来上がると「すごい」などと嘆息が上がり、これから自分達の手で作る和菓子がどんな物になるかという期待が高まりました。いよいよ各自で作り始めます。ドキドキしながら材料を手に取り慎重に作っています。不器用な私は「こなし」を作るのに何がかかわらなくなってしまう、案の定出来が悪くなってしまう。まあこれも経験だなと思いきやあらためると同時に、このコースに参加できて本当にいい体験と思い出が出来たと思いました。

金閣寺

九段中 中村 仁

修学旅行の班別行動で最も多くの班が訪れたのは金閣寺だろう。例に

なんともやさしそうな顔をしている。ここ、「二条城」の丸御殿の大広間には暖炉が響いた。
ふと気が付くとそこにいる人間は僕一人だった。大広間には十数体の入形が向き合っていた。また観光に来た人達が僕の後ろを右往左往していた。班員も僕のことを呼んでいた。ここには人形しかなかったが、約一五年変わらない風景の中、僕の心の中で画像となって現れたのだらう。初めての体験だった。

法隆寺

今川中 堀澤 麻衣

「昔の奈良は、塔の上から見ると、あの『青丹よし』の京師は」の万葉の歌のまんまだった。そして最近では、同じ塔からのながめも、コンクリートの建物ばかり目に映ってイライラするばかりです。という文が脳裏に浮かびあがりました。
この文を書いたのは、法隆寺の修理に心血を注いだ宮大工の西岡常一さんです。これを修学旅行の前に読んで、失われた日本文化の自覚、これと同じように日本の文化財もだんだん少なくなってしまうのではと残念に、そして不安に思っていたのです。

そして千四百年の時を経た今、新緑に映えて建つ世界最古の木造建築物である「法隆寺」を眼前にして、その素晴らしさに我を忘れてしまいました。

洩れず、僕達の班もその地を訪れることになった。

はじめ、僕はあまり期待していませんでした。なぜなら金箔を張り巡らせた金閣寺は足利義満がその権力を誇示するために建てた派手で風情のないお寺だろうという先入観を持っていたからだ。しかし、実際に訪れてみて、その思い込みをはるかに超えた感動を受けた。

入口を通り、大きく道が開けると同時に雄大な金閣寺が僕をとりこにし、思わず感嘆の声を発した。周囲の新緑の中の金閣寺。どこを取っても美しい。金閣寺が金を選んだのではなく、周りの風景が金を選んだと思う。この地にあつての金閣寺だ。そう思えた瞬間、僕は金閣寺の魅力に取りつかれた一人であることに気が付いた。

時空を越えて

一橋中 近藤 剛

時は一八六七年十月、僕は新しい時代への幕開けを目撃した。大政奉還の瞬間だった。辺りは薄暗い。僕のふるえが驚愕の廊下に伝わり、キュッキュッと一帯に響いていた。僕は足がすくんで動けなかった。

諸大名がいる。朝廷からの使者もいる。ここにいる全ての人の向けて將軍徳川慶喜が立つ。

「政権を朝廷に返す事を約束する」

だ。この法隆寺を世界文化遺産の名に恥じないように大切に守っていくのは、現在を生きている私たちの役目であると思いました。

東大寺大佛

練成中 新保 昌世

私は今回奈良という地でそこを愛し、住んでいる人達の心遣いに触れる事ができた様な気がした。まず奈良公園を歩いて東大寺の大佛殿へと行く。大佛殿は少し薄暗いせいか独特の空気を感した。私は実をいうと大佛殿に入った時、大佛が大きすぎて何処にあるのかわからなかった。あの場所で大佛を目で探していたのは、おそらく私だけかとも思っている。その大きさに驚いたが、それ以上に何も動じることのないであらうという顔つき。きつといつの時代の人々も、この大佛に様々な想いを託したのだと思った。その想いの中には誰かにすがりたいという気持ちも含まれたのではないかと思わせる偉大さだった。ところで奈良の建物は新築でも和風建築が多い。皆この地の良さを強調しながら暮らしているように見えた。なんだが東京にはないものを見たようで、少し羨ましく、寂しくも感じた。そんな思いも鼻の奥の春の甘い香りが新しい発見の喜びに変えた。またのんびりとここに来れたら、そう思った。

「軽井沢少年自然の家」の第2期施設として、平成5年4月27日にオープンした「メリーズ軽井沢」が、おかげさまで3年目を迎えることになりました。

この間、延べ約10,000人の方にご利用していただきました。本当にたくさんの方々に関心していただき、厚く御礼申し上げます。

3年目を迎えた メリーズ軽井沢



今後、施設の充実に取り組んでまいりますので、皆様のご利用をお待ち申し上げます。

それでは、まだ「メリーズ軽井沢」をご利用することがない方のために、ここで「3年生」となった「メリーズ組」の素顔を紹介します。



◎パブリック棟

近代的でエレガントな造りの鉄筋コンクリート2階建ての建物で、まさに「メリーズの顔」。

ここには、フロント、宿泊室（10畳が3室、8畳が1室あり、それぞれ「きつつき」、「うす」、「ふくろう」、「かみかみ」と動物の名がついています）、食堂、ラウンジそして大・中の浴場があります。もちろん研修施設の名にふさわしい研修室が用意されており、一度に約20名の方のご使用が可能です。また、これからご紹介するコテージ棟にも、それぞれテニールがありますので、少人数の会議等に最適です。

◎コテージ棟（4棟）

軽井沢の自然とほどよく調和した、「自然の家」らしいコテージです。各コテージには、ミニキッチン、リビング、浴室、洗面所、トイレがあります。また、テレビについてはパブリック棟同様、衛星放送(BS)もお楽しみいただけます。

☆利用できる方

千代田区内に在住または在勤・在学の方
☆お申し込み方法

内装と設備を一新！ 「リニューアル」 保田臨海学園



▲生徒の部屋も「フレッシュ」

用ください。

今回の改修工事で、生徒の部屋をはじめ、施設を改装した点をご紹介します。

生徒に利用しやすい環境をつくりました

押入れや生徒用ロッカーをより大きなものにして、これまでに比べて収納性を高めました。また、食堂には空調機を設置して、食事や学習の際に過ごしやすくなりました。

明るい室内になるように工夫しました

窓は全て広いサッシに交換し、日光を室内に多く取り入れ、また生徒の部屋の入口を斬新な格子戸に変えるなど、屋内の学習環境をより良いものにしました。屋内の壁は、落ちついた色を使い、清潔なイメージを与えます。給湯室も使いやすいうちに改めました。

この他に、従来までは部屋は全て和室でしたが、うち三室を洋室に改装しました。

▲改装された洋室



区民の方の利用に際しては、次の点にご注意ください。

①夏季施設として生徒が使用している間（7月下旬から8月上旬までは、利用できません）。

②食事の提供はありません。

なお利用料金は、1泊につき、12歳以上が800円、4歳から11歳までが200円で、4歳未満は無料です。

利用申し込みと問い合わせは

教育委員会庶務課計画係

☎(3264)0151 内3114
にて受付けています。

メリーズ軽井沢利用料金				
使用区分	コテージAタイプ (定員8名)	コテージBタイプ (定員7名)	パブリック棟 宿泊室Aタイプ (定員5名)	パブリック棟 宿泊室Bタイプ (定員4名)
室料(1泊)	10,000円	9,000円	5,000円	4,000円
宿泊料	(1泊1人あたり) 中学生以下 950円、その他 1,900円			
食事代	2食(朝・夕食) 1,800円			
休憩料	(1人1回あたり) 中学生以下 100円、その他 200円			

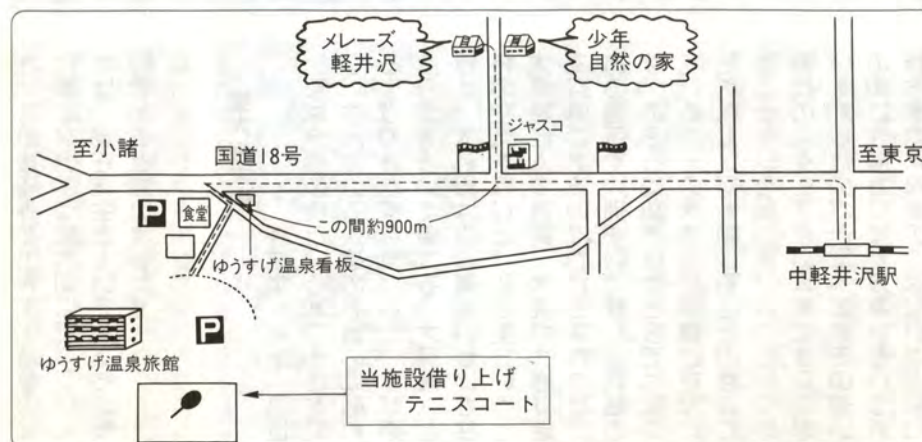
※1泊あたりの利用料金は「室料+(宿泊料+食事代)×人数」で計算します。

☆利用申し込みについての問い合わせ先
地域振興部地域振興課保養施設係
☎(3264)0151
内線2316～8

利用される月の前々月の1日から8日までに、専用のハガキでお申し込みください。(ハガキは、区役所地域振興課、各出張所、ちよだパークサイドプラザ等においてあります。)

☆空き室がある場合
使用月の前々月22日から地域振興課窓口、各出張所および電話にて予約を受け付けます。

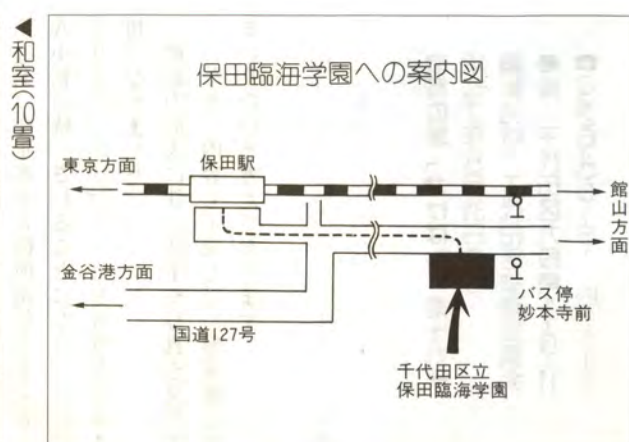
なお、比較的平日が空いていますので平日のご利用をおすすめします。



メリーズ軽井沢または軽井沢少年自然の家(第1期施設)を利用される方については、テニスコート(2面借り上げ)も利用できます。

料金は、1面2時間1500円です。場所は左図を参照して下さい。

テニスコートの利用申し込みは、保養施設係窓口またはメリーズのフロントにてお願いいたします。



▲和室(10畳)



随想

きょういく

「夏も近づく八十八夜／野にも山にも若葉が茂る／あれに見えるは茶摘みじゃないか／あかねだすきに菅の笠」明治四十五年三月、文部省発行尋常小学唱歌(三)「茶摘」である。

八十八夜は、雑節の中の立春から数えて八十八日目。今年は五月二日がこの日に当り、そして六日は立夏。うるわしの五月を迎えた。

さて、昨年五月、日本小児科学会の「子どもの生活環境改善委員会」は、全国十五都道府県の幼児から小中学生まで七千人を対象に、子どもたちの身長・体重を測定し、平日にテレビを見たり、テレビゲームを楽しむ時間の調査を実施している。それによると、子どもの平均視聴時間は一日二時間四十四分であるのに対し、標準体重より五〇%以上重いいわゆる「高度肥満」の子どもは、三時間五十五分と一時間以上も長く、太った子どもほどテレビなどの視聴時間が長い傾向が出たそうである。

子どもたちは、今、情報化、都市化、高齢化など社会の変化が進展する中で、様々な影響を受けながら生活し成長している。特に、子どもたちの知識を中心とした情報量は増大し、いわゆる直接体験そのものよりも間接体験が増加しているといえよう。

体育・運動面についても、社会の変化

は子どもたちの成長・発達に大きな影響を及ぼしている。心身の発達、とりわけ体の機能的な発達についての環境条件は悪化の一途をたどり続けている。心身の成長・発達が自然に促されるはずの運動遊びを体験するための空間や時間の減少は、本区のような都市部だけの現象とは限ら



昌平小学校長
同 幼稚園長

石 黒 健

なくなってきた。放置しておけば、遊びも含めた運動文化の習得、継承すらおぼつかなくなる。遊んで育つことが減り、習って身に付けることが増えつつある現状である。

子どもたちは、元来遊びの名人である。子どもは自由に遊ばせておいても、遊びを

難しくするし、克服しなければならぬ障害を次々に生み出していく。このような楽しさの深まりを充足できなければ、遊びを継続することは不可能であろう。

例えば、水泳ではまず水という環境を克服すること、すなわち水中を歩いたり、水を掛け合ったり、浮くことなどが楽しさの中心になる。そして、次の段階ではクロールや平泳ぎなどの泳法で十メートルや二十五メートルという一定の距離を泳ぐことが楽しさの中心になる。一定の距離が泳げるようになると、次の段階はより速く泳ぐことが楽しさの中心になり、競争を楽しむようになる。

しかし、楽しさを感じるということはあくまでも子どもたちの情意的な問題である。実際の技能水準に加えて、子どもが運動に対する能力をどのようにとらえるかにより、運動の楽しさは、質・量ともに異なってくるものである。

自分の健康に目を向ける力を育てるとともに、運動に親しみ、運動を楽しみ、運動することに喜びを感じる体験ができる場作りを工夫するとともに、子どもたち一人一人に支援できる目を育みたいものである。

いしぐろ たけし
区立小学校長会長
区立幼稚園長会長

きょういく

随想

編集後記

平成7年度がスタートしてから早くも2か月が経過しました。新入生たちもようやく学校にも慣れ、落ち着いて学校生活を送っていると思います。

先日、番町小に給食の取材に伺い、一生懸命に給食当番をする1年生を見て、一歩一歩成長している子どもに感心しました。

さて、今年度から月二回の学校週五日制が実施され、子どもたちにとっては楽しいお休みが一日ふえることになりました。時間的なゆとりが心のゆとりを生み出すように、もう一度家族全員で考え、自主的な行動がとれるようにしていただきたいものです。

なお、今年度から役所関係の公文書はA4判に統一されることになり、これによりこの「かけはし」もB5判からA4判になりました。

紙面の拡大に伴い活字や写真を見やすくしたり、内容も工夫して一層充実してまいりたいと考えております。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第十九号
平成7年5月31日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102 千代田区九段南1-6-11
☎(3326)40151 内3114